# 『ナッジ』ってな～に？

労働災害防止のための管理手法のひとつとして行動災害防止に有効な手法です。

ナッジ…行動科学の知見から、望ましい行動をとれるよう人を後押しするアプローチのこと。

**職場の安全管理としてナッジを①考えて②取り入れてみましょう！　以下はその例です。**

**Before**




段差を跨ぐと、躓き転倒する可能性がある

**After**




段差を跨がないようレイアウトを変更

**Before**




死角により衝突する危険がある

**After**



通行ラインと注意書きを表示

**Before**



段差（写真はスライド式キャビネットの基礎）にトラ模様表示はあるが、つまづく危険が残る

**After**



ポールを設置
（段差の手前に置くことで、段差に近づかなくなる）

**Before**




**After**




道具をこの場所・この範囲に置くように誘導
（整理整頓によりつまづき防止にもなる）

衝突防止のため、右側通行を表示して、歩行を誘導

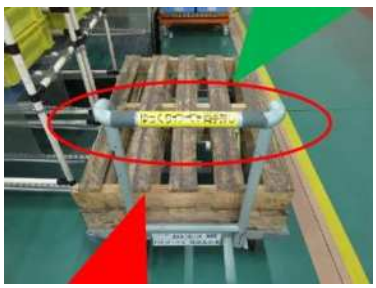


構内は自由歩行ではなく、安全通路の歩行を誘導



三点支持昇降を誘導





台車の持ち手の位置を誘導






今後は労働災害の中でも行動災害の割合が増えていくことが予想されています。
行動災害はヒューマンエラーの要素が強いため対策が難しいものと思われがちですが、このナッジは有効な方法のひとつといえます。
ナッジはアイディアです。
積極的に取り組んでみましょう。
努力したぶんだけ職場内に見える化として現れます。
（努力の見える化は見る人の安全意識も高めます）

令和　年　月　日

各写真は、あんぜんプロジェクト（厚生労働省）の「見える」安全活動コンクールで公開されているものです。

一関労働基準監督署

（R6.4）